

オレンジカフェ静岡

毎月第三日曜日

認知症の情報交換・予防・相談ができるカフェ

6/16 2時～4時

コーヒー・紅茶
ハーフティ
お菓子
各100円



近藤匡晴(くにはる)先生

日本歯科大学卒業、新潟大学研究科摂食嚥下リハビリテーション学科卒業。歯学博士。

今月のお話

劇的に進化している在宅歯科診療

近藤匡晴先生 近藤歯科医院副院長

以前、訪問歯科診療について話させていだいたのがもう二年前になります。

この二年の間に、訪問歯科診療は劇的に進化しました。口腔機能低下症という病名も増え、いろいろな予防的治療を健康保険・介護保険を利用して受診できるようになりました。

しっかりと口から栄養を摂取する必要に年齢など関係ありません。おいしい食

事、楽しい食事は健康の一番の源です。しかし、まだまだ訪問歯科診療の認知は低く、どのようなことが出来るのか？どうやって受けければいいの？などの質問がまだまだあります。

今回のミニ講話では在宅歯科診療で行われている診療についての話と、最新の治療の紹介をしていきます。今まで、診療室でしか行うことが出来なかったことが在宅診療でも受けられるようになってきたことや、最近、依頼の多い内視鏡を導入しての摂食嚥下訓練など紹介していきます。今回も、わかりやすく、楽しく解説していきます。よろしくお願いします。

(近藤匡晴先生記)

近藤匡晴先生は、訪問歯科をご専門に活躍していらっしゃると思います。まだよく知られていない訪問歯科についてのお話を伺えるとても貴重な機会です。

恒例の 上藤美紀代による 声のワークショップ



紫陽花の季節ですね。先日、あるテレビ番組で、アジサイ博士という方が「今、世界中には 4000 種類ほど存在する」と話していました。そしてこんなおまけも。「花と対になる動詞(自動詞)を知っていますか?『桜』は『散る』、『椿』は『落ちる』、『菊』は『舞う』、『梅』は『こぼれる』と…」日本語ってなんて繊細で美しいのでしょうか! 今これを読んでくださっている皆さまは、きっと「へ〜」とか「ほお〜」とか、お顔の表情も豊かに、あふれる感性を声になさったと拝察いたします。

ところが、ここ数年、学校やカルチャーセンターで出会う多くの若者が表情筋が動かず、か細い声しか出ずに心配しています。将来、しっかり自分の夢をかなえてもらうためにもなんとかなくては!と思案する日々なのです。皆さまのようなお手本を増やすことも私のお役目かと。あ、最後に、「紫陽花」に対する自動詞は「しがみつく」(そのまま二度咲きすることもある!)だそうですよ。(^-。^-)

合唱



望月保夫さんの指揮とアコーディオン伴奏で次の童謡を歌いましょう!

- ・富士山(頭を雲の・・・)
- ・我は海の子
- ・夏の思い出(夏が来れば)
- ・汽車(汽笛一声)

ボランティアの紹介

オレンジカフェ静岡には、次のような31名のボランティアが、皆さまのご来場をお待ちしています。

一般の人5名、介護専門職4名、看護師3名、介護家族支援団体所属3名、心理専門職2名、大学教員4名、若者(大学生・大学院生・その他)11名、似顔絵ボランティア。さらに伝馬町横内地域包括支援センターと静和会城東ケアプランセンターから、相談の専門家が毎月交互にいらしてくださっています。お気軽にご相談ください。

今月の相談担当者

今月は、伝馬町横内地域包括支援センターから福與知恵さん(保健師・看護師・助産師)がいらして相談にのってくださいます。

予告 七月のミニ講話

楽しく認知症予防

認知症を予防する為にはどうしたらいいの?

講師 前田智貴さん 理学療法士

手の運動から脳を活性化させることを目的としています。運動内容は最初に準備運動としてストレッチを行います。次に鼻と耳です。鼻と耳とは右手で鼻、左手で耳を触り顔の前でクロスします。それを交互に行っていきます。最後にトントンスリスリです。どちらか一方の手をグーにし、反対をパーにします。グーの手は腿をトントンスリし、パーの手で腿をスリスリし、2つの動きを同時に行います。(前田智貴さん記)

認知症予防として注目され、最近NHKでも紹介された運動です。皆さんで楽しく行いましょう。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo

会場提供

社会福祉法人 静和会

主催 NPO 法人

ヒューマン・ケア支援機構

TEL : 090-5620-6070

HP : <http://npo-humancare.jp>

※駐車場有ります



バスでお越しの場合、静岡駅北口から、5、6番のすべてのバスで、横内町静岡学園前下車。徒歩5分。バス停に案内人がいます。